

## 小金井市公共施設在り方・再編方針（案）に対する意見

意見募集期間：令和8年1月23日から2月24日まで

意見提出数：7人・22件

番号	項目	寄せられた意見
1	第1章 公共施設在り方・再編方針について（1ページ）	「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」と同様に、市民懇談会に出席した際に配布された「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」に係る市民懇談会」も広く公開すべきだと考える。 どちらもよく検討され見易いレイアウトで作成されているが、前者「小金井市公共施設在り方・再編方針（案）」をより市民向けにまとめて背景も分かりやすく解説した後者も可能な限り市民の目に触れられるべきである。
2	第1章 公共施設在り方・再編方針について（1ページ）	1月以降、数多くのパブリックコメント募集が乱発され、心ある市民にとって、十分に素案を読み込む時間もなく、あまつさえ市民説明会も一度しか開かれず、大変残念な思いをしています。説明会があれば是非とも質問したいことが沢山ありました。
3	第1章 公共施設在り方・再編方針について（2ページ）	本方針案は、将来にわたって持続可能な公共施設サービスの提供を目指す上で、施設の現状と課題を整理し、再編の方向性を示すものとして、よく整理されており高く評価されますので、今後は小金井市にありがちな「よく出来た包括的な方針」（絵に描いた餅）と「実行結果」の乖離を生まぬよう、PPP/PFIを活用した「具体的な施設計画の策定」と「実行中施策」の相互反復、検証報告も提示してほしい。
4	第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画 （6、12ページ）	P6、P12に示されている人口推計および児童数の予測値について確認です。 現在、東小金井駅前および武蔵小金井駅前、旧公務員住宅跡地などで大規模マンションの開発が進んでいますが、これらの住宅供給による人口増加分は、当該推計値に反映されているとの理解でよろしいでしょうか。特に、戸数規模や入居時期が一定程度見通せる案件については、将来人口や児童数に与える影響を定量的に補正しているかどうかを明示いただきたいと思います。
5	第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画	学校の児童数については、将来的に減少に転じる可能性が示されています。しかし、児童数の推移と学童保育の利用児童数は必ずしも比例するものではありません。 実際に、本市においても学童保育の利用児童数は増加傾向にあり、全国的にも共働き世帯の増加を背景とし

	(12ページ)	て利用率は上昇しています。ある地方自治体では全児童の7割以上が学童を利用している例もあり、人口が横ばいまたは減少局面にあっても、学童需要は増加し得ることが示されています。 したがって、学校児童数の将来推計のみを前提として施設規模を判断するのではなく、学童利用率の上昇を織り込んだ需要推計を行うことが必要ではないでしょうか。
6	第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画 (19ページ)	基本目標にある総量抑制と更新費用及び維持管理費の縮減への努力は誰が見ても当然で、基本的な3つの考え方にも異論はありません。 ただ、市民目線からは、現状の公共施設が、総合管理計画(R3年度改定)以降、この基本目標にそって、どのように実行されたのか、実行されていないのかを検証していただきたいです。 市民にとっては、「〇〇計画に△△と書かれている」ことより、ある日突然当てにしていた公民館での市民活動が空調不具合で使用できなくなったり、4年間もかけて公立保育園5園を、公共施設として子育て支援施設として全園残してと主張してきたのに、2園が2年後廃園になるのが決まってしまう…と理不尽なことばかりです。現に、廃園に向け、0、1、2才児募集と定員の縮減により、育休明け1才児の4月以降の待機児が100人を超えようとしています。このことを、この事案にたずさわっている市職員や理事者はご存じですよね。あきらかに、基本的な考え方3 市民サービスの向上にはなっていませんよ。
7	第2章 本市の現状と小金井市公共施設等総合管理計画 (21ページ)	市全体としての公共施設の全体最適化の視点から……公共施設が目指すビジョンの共有が必要…とありますが…。 古くから住む市民にとって、新庁舎建設の迷走ぶりは、目にあまるものがあります。しかも、秋口(何号か忘れましたが)市報にトピック扱い庁舎入札が不調だったとの5行位の記事がのっていたのには正直驚きました。「え!!トピックかよ~!!」と思わず手にしていた市報を投げ出しました。新庁舎建設に対して、どれだけの市民が(ごく一部に思われようと)心を痛め、市職員が汗をかいてきたことでしょうか。この扱い方はないでしょうか。これでは目指すビジョンの共有などできるはずもないと正直思っています。 なぜ、この素案にもあるように、財源不足のなか、新庁舎建設プラン、その大巾な見直しをしないのか? 他の様々な市の計画との整合性を考えればDX推進などで対面式サービスが大巾に縮減できれば庁舎の広さも縮減でき、そのかわりに対面対人で直接やる事業を拡大できるし…といろいろな工夫をし、将来へツケを回さない財政運営ができると思うのですが、いかがでしょうか。本事業は、あくまで方針という抽象的なもので、触れられていないのでしょうか?
8	第3章 これからの公共施設が目指すビ	上位計画の「公共施設マネジメントの構築に向けて」においては、総量抑制、民間活力の活用、資産の有効活用の3つが方針として示されています。

	ジョンとエリア別の公共施設の再編（24ページ）	<p>しかしながら、上位計画および本方針のいずれにおいても、それらの優先順位や適用条件が明確に示されていません。具体的に、どのような状況にある施設を優先的に再編対象とするのかが記述されておらず、実行性に欠ける印象を受けました。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の程度</li> <li>・維持管理費の水準</li> <li>・稼働率や利用実態</li> <li>・代替可能性の有無</li> </ul> <p>など、客観的指標に基づく優先度の整理が必要ではないでしょうか。</p> <p>優先順位が示されないままでは、個別判断が場当たりのになりかねません。再編の基準および優先度の明確化を求めます。</p>
9	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（25ページ）	<p>本素案がタイトルにあるように「方針（案）」ということなので、かなり「絵に描いたモチ」的なふわっとしたものになっていますが、それにしても、1-1. これからの公共施設が目指すビジョンの⑥にある、行政が担うべき公共施設・サービスの場にある「民間事業として成立する事業に関しては民間に委ね……」とある事業は何を示し、「……行政が実施するにふさわしい場として設置していきます。」とある。行政が担うべき事業とは何を示すのでしょうか？</p> <p>一日の大半を小金井市で過ごしている高齢市民にとっては、とりわけ市公共施設はライフラインとつながり極めて具体的な事柄です。</p>
10	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（25ページ）	<p>ビジョンについては、その通りだと思う。</p>
11	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（26ページ）	<p>イメージについては、図を入れて、よりイメージしやすい内容にして欲しい。</p>
12	第3章 これからの公共施設が目指すビ	<p>市民ワークショップの意見を反映していただき、意欲的な内容だと思います。しかしながら、「イメージ」については、施設の職員が、見守るだけで、人が自然につながっていくという、極めて楽観的な内容になっ</p>

	ジョンとエリア別の公共施設の再編（26ページ）	ており、認識が甘いと言わざるを得ません。問題は「建物」や「施設」「定義」だけではなく、人々の関係性を耕す〔東大牧野先生の表現です〕（つまりつながりたいときにつながる関係性の下地が人々の間に醸成されている）のは、やはりお節介な「つなぎ人」の存在です。人々を観察しながら、地域のつながりの人脈と、知識、共感力やコーディネート力・ファシリテーション力に優れた方がいないと、こういうイメージは実現しません。その必要性の認識が抜けているのではないかと心配になりました。施設を今まで通り運営していれば、関係性は出来上がる。それは施設の責任ではないと腰がひけていないでしょうか。施設と人が合わさって初めて目的が達成されるもので、これからの公共施設はそうした、緩い関係性を作り出す、仕掛け人が必要で、施設とソフトが一体になったものでなくてはなりません。社会教育の観点から運営に関しても市民で運営の会議や作戦会議が必要です。そのプロセスの必要性や地域や市民の主体性や協働性を喚起する施策でなくてはならない。施設の在り方であるのですから、そのソフト面での「人財」の必要性をしっかりと言及すべきと考えます。
1 3	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（27ページ）	本計画では「エリア特性」という新たな論点に加えられ、ワークショップの実施等が示されています。しかし、計画文書全体を通して見ると、新たな戦略や実行体制の明確化というよりも、論点の追加にとどまっている印象を受けます。 市民参加は重要ですが、単発のワークショップの実施をもって十分とするのではなく、実行段階において継続的に対話を重ね、その結果を具体的な判断や修正に反映させる仕組みを明確にすることの方が重要ではないでしょうか。 計画段階での参加の有無よりも、執行の中に市民との対話プロセスを組み込むことを求めます。
1 4	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（29ページ）	さくら保育園があげられていますが、廃園してしまいますよね。この素案の方針に基づいてR8年度以降5年ごとの次期公共施設等総合管理計画が定められていくのだろうと推測しますが…さくら保育園を今後どうするのですか？ P25にある目指すビジョンによる活用の方向性は、上記管理計画で示されるのでしょうか？子どもと保護者の裁判までした大きな犠牲の上に決行された廃園です。今後の「公共施設等総合管理計画」を注目していますよ。
1 5	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（30ページ）	市民文化系施設の婦人会館は、1966年に市民の寄付によって？（伝聞です）女性のための活用を条件に建てられたと聞いています。参考資料P63には、エリア別建築年別公共施設としてのつていますが、P57～62のヒアリング結果概要には記載がありません。なぜですか？男女共同参画推進の視点から「女性談話室」事業としてあげられている公共施設なので、取り上げられていない理由を知りたいです。

16	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（32ページ）	中町天神前集会所は、もともと南エリアの児童館のため用地買収された土地だと聞いています。野川（今は干上がっていますが）もごく近く、集会所機能もあわせもつ子育て支援系施設を作りませんか？
17	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（33ページ）	廃園されてしまうくりのみ保育園はどうなるのでしょうか？5か年計画にどう盛り込まれるのか注視しています。
18	第3章 これからの公共施設が目指すビジョンとエリア別の公共施設の再編（35ページ）	新庁舎と（仮称）新福祉会館は、行政・福祉総合拠点と位置付けられていますが……、とりわけ（仮称）新福祉会館は、新庁舎建設の入札不調の影にかくれて、あまり話題にのぼっていないのですが、どうなるのでしょうか。それこそ、現時点での福祉会館の具体案（少なくとも福祉拠点としての機能）は整理され、市民にわかりやすく提示される機会はあるのでしょうか？あわせて女性センターはどうなりますか？男女共同参画行動計画では20年来求められているのですが…。 長くなるのでここまでとしますが、市民にとってどれも大切な公共施設について、具体的な市民生活の助けになることを念頭に、行政努力を積み上げていってください。
19	第4章 公共施設の再編の方向性（39ページ）	集約化・複合化の方向性について、既存施設の利活用方針は良いので、集約化される施設や今後廃止予定の市立保育園の底地を活用し、PPP/PFIを利用して、容積率緩和によって民間介護福祉施設を誘致するなど、民間による建設投資資金を活用して、学童保育施設、地域交流センターを併設するなど小金井市が保有する「土地」という貴重な財源を活かした具体的な公共施設設置計画を策定してほしい。
20	第4章 公共施設の再編の方向性（40ページ）	現在の案は施設の複合・集約化を中心に考えられているが、建築費が高騰し、市庁舎の建て替えもままならない現状を鑑みると、現実的な指針とは言い難く、具体的な検討まで相当な年数を要するものとする。 しかし、実現ハードルが高い複合施設ありきではなく、市民サービス向上のために出来ることはもっと身近にあるのではないかと。老朽化した「施設」は廃合しつつ、身近なサービスの「拠点」を増やすことで、財政負担の軽減と市民サービスの向上を両立できるのではないかと。  指針の改善を検討する際には、以下の3点を提案したい。

		<p><b>【民間商業施設の間借り】</b>  近隣の国分寺市や府中市は駅前の商業ビルの中に行政サービスの窓口を設けている。  小金井市でもソコラや駅前再開発の計画時に、そのような交渉が可能な機会があったのではないかと期待する。  今後は民間の開発動向の流れを注視し、市の財政負担を軽減しつつサービス拠点を増やすことを期待する。</p> <p><b>【図書館機能の分散配置】</b>  既存の公共施設など身近な場所にミニ図書館スペースや予約図書を受け取り窓口や無人ロッカーなどを置くことで、図書館を新築・改築するよりもはるかに低コストに図書館の拠点を増やすことができる。</p> <p><b>【親子の居場所作り】</b>  現状、乳幼児が遊べる屋内施設は保健センターなど、駅遠の立地にしかなく子育て支援が十分とはいえない。  ① 駅前でアクセスしやすい宮地楽器ホールの稼働率が低い空間（例・マルチパーパススペースD）に簡易的なキッズスペースを設ける  ② 公民館・集会所の一部を乳児と保護者の休憩・交流スペースとして転用する</p> <p>上記のように低コストで実現する施策も方針内に盛り込むことで、足元から一歩ずつ市民サービスが向上することを願う。</p>
2 1	第4章 公共施設の再編の方向性 (40ページ)	学校施設を地域コミュニティの核とするという考え方を、より明確にしてほしい。
2 2	—	社会福祉協議会2F会議室に最低月一回通っている者ですが、2Fにあがるのに巾の広い階段は両手が使えないので片側の手すりにつかまって昇り降りしなければならない。これを左手でつかまって、もう片方は杖を使っている。あと何年ガマンしなければならないのか。以前、この階段からころげおちた人がいる。そこであわてて両側に手すりをつけたと聞いている。高齢者・障害者にとって非常に使いにくい…。私は現在78歳だがあと何年もちこたえられるか…。

※提出された意見は、原則として全文を掲載します。